

特定非営利活動法人 らいぶらいぶ

平成 30 年度(2018 年度)事業報告書

1. 会員に関する報告

平成 31(2019)年 3 月 31 日現在 正会員 13 人
賛助会員 56 人 (個人 55 人、団体 1 法人)
ボランティア 28 人
ブックチャンスボランティア 28 人

2. 運営に関する活動報告

今年度で法人発足 13 年目を迎え、4 期目となる相模大野図書館受託事業を中心に取り組んだ。
年度末で終了を予定していたブックチャンス事業については、ブックチャンスボランティアから派生し誕生した団体へ各活動場所を引き継いだ。
特定非営利活動法人の認定資格については平成 30 年 8 月 8 日をもって終了した。

(1)理事会の開催

平成 26 年度から外部より理事を依頼し、広い視点で法人運営にあたる。

第 1 回 平成 30 年 5 月 13 日

第 2 回 平成 30 年 5 月 27 日

第 3 回 平成 31 年 3 月 16 日

(2)事業委員会の開催

主に図書館の運営に関する事項について、討議・検討するため、事務局員 8 人が参加し毎月 1 回程度開催している。

(3)定例会の開催

原則、毎月第 2 木曜日に事務所にて、事務局からの報告、各プロジェクトおよび新規企画提案を審議・検討する場として、正会員が参加し定例会を開催している。

(4)働く環境の整備

産休・育休の取得、復職後の育児短時間制度や遅番シフトの免除、短時間正社員制度の導入により、仕事と家庭の両立を支援している。

3. 事業の成果

図書館運営事業

平成 28 年 10 月から受託した 4 期目の相模原市立相模大野図書館運営事業は、委託内容に新規で追加された事業等に加え、当法人からの提案事業も実施し、NPO 法人らしさを全面に打ち出すような図書館運営を行うために、皆でアイデアを出し合っている。

今期、相模大野図書館の新たな事業として、「英語多読コーナー」の新設を提案した。昨年まで LCA 国際小学校図書室運営業務に携わっていた正会員の司書を中心に展開し、オリジナルキャラクターを作るなど誰にでも親しみやすくわかりやすいコーナー展開を仕掛けた。メディアに取り上げられることも多く、外国語資料の貸出増に繋がり、市から大きく評価された。

公契約条例の労働報酬下限額の上昇は続いているが委託費の減額後の増額はない。その為、経営面では

難しい部分があるが、現場で働く者たちのモチベーションは変わることなく運営を続けている。しかしながら、市職員との認識には4期目を迎えてさらに大きな隔たりがあり、現場での混乱が続いていることを残念に思う。

体制面では契約社員の退職があり、シフト等大変な部分もあったが、当法人の売りである長年の経験と柔軟な対応で乗り切ることができた。

非営利事業

平成18年から行っているエフエムさがみでの「ブックらいぶ」は本の紹介にとどまらず、メンバーが直接演じてトークライブを行う等の工夫を重ね、クオリティを高めてきた。今年度末で終了となったが、長きに渡り地域ラジオ放送を通して当法人をアピールできたことに感謝したい。

設立当初から開催している「絵本の中の料理を作る会」は、夏休み期間に開催した。年々集客の難しさを感じていた事業であるが、今回は定員を割ることはなく開催することができた。ぐりとぐらのカステラを作ってみた

い！という思いから始めたこの会を、13年間続けられたことは、メンバーの企画力の賜物であり、以前参加していた小学生が学生ボランティアとなってくれる等、長寿企画ならではの喜びもあった。

司書力を高めるための勉強会には、さまざまな地域の図書館から参加があった。設立当初より毎年開催しており、さまざまなテーマについて学び、各分野の講師の方々と知り合うことができた。

「ベビーフェスタ」は、相模原市民文化財団との共催により今年も実現した。今年は例年と比べ集客が難しい部分もあったが、当日はボランティア団体等の活躍により、高い評価をいただくことができた。他団体とのコラボレーションによる事業を毎年開催できたことは、地域に根ざした非営利活動を続けてきた当法人の一つの礎であると感じる。

ブックチャンス事業

平成30年度のブックチャンス事業は、定例の活動と終了に向けた準備、移行を行った。定例の活動は参加者の定着、ロコミによる新たな親子の参加もあり、ほぼ例年と同じ様な活動実績となった。また、平成29年度に相模原市立相模大野図書館の読書週間イベントで行った「絵本で子育てワークショップ(ブックチャンス)」は、参加者から要望が高く、定期的な開催が望まれた。それを受け、親子で参加しやすい土曜日に定期的(年3回)に実施された。

平成21年度から始まったブックチャンス事業は、平成30年度をもって無事終了することができた。ブックチャンスボランティアによるグループ「絵本DEあい・ブックりぼん」が立ち上がり、ブックチャンスの趣旨を引き継ぐことができた。支援の一つとして使用していた絵本・大型絵本等を譲渡した。

11年に渡り絵本を開く楽しいひとときを多くの親子へ伝えてきたブックチャンス事業。開始当初は子育て広場などに依頼し、活動の場を広げていた。相模原市協働提案制度事業として南保健福祉センターで行われる4か月児健診の際にブックチャンスを実施した。その実績が認められ、平成23年度から2年間、「親子コミュニケーション支援事業」として市からの受託事業となった。これが今の全市で行われるブックスタートにつながった。その功績は大きい。

これまでの活動を振り返ると、時流に合致していたこと、絵本を使って子育てを応援したいという私たちの熱意、そしてそれに共感してくださったボランティアを始め、たくさんの人たちや企業に支えられてきた。ブックチャンス事業の広がりや、人との出会いを生み、つながりを育み、たくさんの喜びと感謝を私たちに教えてくれた。

4. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 図書館利用の普及啓発事業

ア 「WFWP さがみはら 春のつどい」講師受託事業

同イベントでの講師を受託。

- ・ **内容**

WFWP さがみはらが毎年開催しているイベント「春のつどい」にて、「子どもと本をつないで」と題し、当法人の相模原市立相模大野図書館運営事業やブックチャンスでの活動について、日頃の体験を交えながら話しをした。読書の大切さや、ブックチャンスの有意義な活動について多くの理解を得ることができた。

- ・ **日時** 平成 30 年 4 月 28 日(土) 14:00~16:00

- ・ **場所** 大野南公民館 コミュニティ室

- ・ **対象者** WFWP 会員及び来賓

- ・ **参加者** 15 人

- ・ **従事者人員** 1 人

- ・ **支出額** 2,000 円

② 読書推進に関する事業

ア ブックチャンス事業

乳幼児と保護者が絵本を介して、心ふれあう楽しいひとときがもてるチャンスを作るための事業。

ブックチャンス

- ・ **内容**

平成 30 年度のブックチャンス事業は、定例の活動と終了に向けた準備、移行を行った。定例の活動は参加者の定着、口コミによる新たな親子の参加もあり、ほぼ例年と同じような活動実績となった。終了と継続(移行)に向けての話し合いを 2 回行った。そして、ブックチャンスボランティアによるグループ「絵本 DE あい・ブックリぼん」が立ち上がり、ブックチャンスの趣旨を引き継ぐことができた。

- ・ **日時** 平成 30 年 4 月~平成 31 年 3 月 全 87 回

- ・ **場所** 相模原市内の子育てひろば等 13 か所(単発も含む)

- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の親子

- ・ **参加者** 延べ 974 組

- ・ **従事者人員** 13 人、ボランティア 28 人(活動ボランティア延べ 230 人)

- ・ **支出額** 247,007 円

イ ブックチャンス関連事業「ベビーフェスタ」

* (公財)相模原市民文化財団 共催事業

- ・ **内容**

今回で4回目となった、相模原市内で子育て支援を行っているグループとの連携によるイベント。赤ちゃんの五感に働きかけ、感性を育てる一助となるよう、ブックチャンスを中心に、布えほん・布おもちゃ、ベビーヨガ、音あそび、わらべうたの各コーナーを体験してもらった。参加団体も、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを通して、子育てを応援した。また、参加団体間でお互いのコーナーを見学・体験することで、活発な情報交換・交流が行われた。

- ・ **日時** 平成31年3月3日(日) 10:00~14:00
- ・ **場所** おださがプラザ 多目的ルーム
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の乳幼児(0~1歳)とその保護者
- ・ **参加者** 30組(子ども30人 保護者53人)
- ・ **従事者人員** 5人、ボランティア9人
- ・ **支出額** 77,592円

ウ コミュニティラジオ放送番組による読書推進活動事業

放送による読書案内、当法人主催・共催などのイベント案内事業。

- ・ **内容「ブックらいぶ」**

エフエムさがみ(83.9MHz)で当法人の正会員による「おすすめの本」の紹介や、当法人主催のイベント等の案内を発信する。時流・季節に沿ったものを中心に、多分野にわたる内容を紹介した。また、平成27年度より開設した専用フェイスブックを通して、収録風景などを発信した。平成30年7月に放送12周年を迎え、平成31年3月30日の第654回をもって番組を終了した。

- ・ **日時** 平成30年4月~平成31年3月 毎週土曜日 11:00~11:15
- ・ **場所** エフエムさがみ
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の市民
- ・ **従事者人員** 2人
- ・ **支出額** 120,000円

エ 体験型読書推進活動事業

絵本の中に出てくる料理を実際にも作ってもらうことによって、より絵本に親しんでもらうための事業。

- ・ **内容**

絵本の中の料理を作る会「ドーナツをつくろう！」

テーマはドーナツ。ドーナツのトッピングにも挑戦した。ドーナツに関する絵本の読み聞かせと関連本の紹介も行い、お土産としてレシピカードも作成した。

- ・ **日時** 平成30年8月6日(月) 10:00～11:45

- ・ **場所** ユニコムプラザさがみはら 実習室1

- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の小学生

- ・ **参加者** 22人

- ・ **従事者人員** 5人 ボランティア 1人

- ・ **支出額** 28,226円

オ 「神奈川新聞」紹介本原稿受託事業

同紙の相模原・県央バザール面掲載に掲載する本の紹介文執筆依頼を受託。

- ・ **内容**

相模原・県央バザール担当者より、小学生向けに「親子で読んで平和を考える」をテーマに紹介する本の内、『杉原千畝と命のビザ』(ケン・モチヅキ／著 ドム・リー・絵 中家多恵子／訳 汐文社)、『えんぴつびな』(長崎源之助／作 長谷川知子／絵 金の星社)の紹介文執筆を依頼された。

- ・ **掲載号** 平成30年8月11日(土)号掲載

- ・ **従事者人員** 2人

- ・ **支出額** 4,000円

③図書館運営事業

ア 相模大野図書館運営受託事業

相模原市立相模大野図書館の窓口業務等を受託し、地域に根ざした図書館の運営。

- ・ **内容**

日常業務のほか、活用講座、読書週間、大人のためのおはなし会等のイベントを開催し、実習生、インターンシップ、就労支援生を受け入れた。

今年度は、LED工事による臨時休館があったが、計画的に準備し、滞りなく対応できた。

また、英語教育への関心が高まることを予想し「英語多読コーナー」を新設した。新聞や市の広報に取り上げられ、利用者にも好評である。

- ・ **日時** 通年

- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館

- ・ **従事者人員** 13人 (実働41人)

- ・ **支出額** 90,949,365円

図書館活用講座

図書館利用普及啓発を目的に、図書館をより活用するための講座を 4 回開催した。各回、図書館員による関連本の紹介、冊子の作成をした。同時にそれぞれの図書館活用講座にちなんで「特集コーナー」を設けた。

「目からウロコのラジオ体操専門講座 ～ラジオ体操の基本を正しく学ぼう～」

- ・ **内容** 和やかな雰囲気の中、ラジオ体操の指導を受けた。社会福祉協議会の高齢者生活支援コーディネーター3 名の見学もあった。
- ・ **講師** 平岡亮一氏（日本体操研究所 健康運動指導士）
- ・ **日時** 平成 30 年 6 月 28 日（木） 10:00～12:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市民及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 35 人
- ・ **従事者** 3 人

「ブラックホールの見つけかた」

- ・ **内容** 小学生の参加も 6 名あり、幅広い年齢層に需要があることが分かった。難しい内容だったが参加者は熱心に聞いていた。
- ・ **講師** 尾崎忍夫氏（国立天文台 TMT 推進室特任研究員）
- ・ **日時** 平成 30 年 9 月 30 日（日） 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 41 人
- ・ **従事者** 3 人

「Aroma Style ～アロマを暮らしに取りいれて～」

- ・ **内容** 講師が用意して下さったユーカリの香りを楽しみ、アンチロコモの呼吸法を習うなど、実践を交えての講座となった。参加者は熱心にメモを取ったり、質問も多く出た。
- ・ **講師** アロマーヌ橋本氏（芳香療法士）
- ・ **日時** 平成 31 年 2 月 8 日（火） 13:30～15:30
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 48 人
- ・ **従事者** 4 人

「さがみはら史跡散歩 ～陸軍通信学校跡地を巡る～」

- ・ **内容** 好評の「郷土を知る～さがみはら今昔」の 10 回目。初めての館外散策で相模女子大学の構内を巡った。博物館の他、相模女子大学の協力も得ることができた。
- ・ **講師** 木村弘樹氏（相模原市立博物館 学芸員）
- ・ **日時** 平成 31 年 3 月 5 日（火） 10:00～12:00
- ・ **場所** 相模女子大学 構内・茜館
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 25 人
- ・ **従事者** 4 人

秋の読書週間

平成 30 年 10 月 27 日～11 月 7 日に、利用者参加型のおすすめ本展示、図書館の裏側ツアー、ふるさとクイズ、地域紙紹介、児童向けには手話付きおはなし会、としょかんフルーツハントなど、読書活動推進のための各イベントを行った。

サービス向上委員会が各イベントのパッケージ化、全体のとりまとめをした。

大人のためのおはなし会

- ・ **内容** 相模原市民文化財団共催イベント。「没後 70 年太宰治の世界」と題し『お伽草紙』の中から『舌切雀』の朗読と、その時代に縁のある音楽の鑑賞。最後に全員で合唱をし、とても良い雰囲気だった。
- ・ **出演者** 長池慶子氏（朗読）、干場和美氏（歌）、斉藤保子氏（歌）、駒井靖子氏（ピアノ）
- ・ **日時** 平成 30 年 10 月 18 日（木） 13:30～15:30
- ・ **場所** 相模女子大学グリーンホール 多目的ホール
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 238 人
- ・ **従事者** 5 人

お正月イベント

平成 31 年 1 月 5 日（土）新年最初の開館日に、今年も図書館に親しんでいただけるよう新年のご挨拶も込めイベントを行った。

各班で年末から準備し、新春図書館おみくじ、干支しおりプレゼント、紅白の本展示、郷土資料・かるたの展示等を行った。児童向けには、当たり付き児童向けおみくじ、絵本を取り札にしたカルタ大会「絵本でカルタ」を開催し 11 名の参加があった。

また、相模の大風センターから借用した凧を外階段、児童フロアに展示し、お正月らしい雰囲気を出した。

イベントの内容が、ショッパー新年号に掲載された。

絵本で子育てワークショップ

平成 29 年度相模大野図書館の読書週間イベントで行なった赤ちゃんパパ・ママ向けイベントが好評を得て、今年度、要望に応える形で定期開催した。相模大野図書館で行うブックチャンス。

	参加者(組)	ボランティア(人)
6月2日(土)	9	4
9月1日(土)	12	5
12月1日(土)	14	5
3月2日(土)	9	3

イ 勉強会事業

図書館関連の各分野における有識者の講師による講義。

- **内容 「カウンター対応にも役立つ レファレンスインタビュー」**

カウンター業務やレファレンスを行う際に、利用者とスムーズにコミュニケーションを図るために必要な接遇技術、情報ニーズと情報源とを結ぶための知識についての講義を受けた。

また、児童向けのレファレンスの仕方や、レファレンスに役立つサイトなども紹介いただいた。

- **講師** 千 錫烈氏(関東学院大学准教授)
- **日時** 平成 30 年 11 月 26 日(月) 9:45~11:45
- **場所** ユニコムプラザさがみはら セミナールーム 1
- **対象者** 当法人会員、市内および近隣図書館員、市内公民館図書室職員、市内学校図書館スタッフ、一般市民
- **参加者** 38 人
- **従事者人員** 2 人
- **支出額** 14,055 円

図書館関係研修参加実績一覧（平成 30 年度）

No.	日時	研修名	主催者	研修内容	備考
1	6/2	読み喜びを提供するバリアフリー資料の今	公益財団法人 伊藤忠記念財団	読むための障害を解消するさまざまなバリアフリー資料の紹介を中心に、障害の特徴とそれにあつた支援方法について学ぶ	講師：読書バリアフリー研究会 於：国際子ども図書館
2	6/6～8	障害者サービス担当職員養成講座	日本図書館協会	障害者サービスの基礎	実習：横浜市中心図書館
3	6/27	レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	レファレンス協同データベースのシステム機能・データの作成・公開に必要な知識・技能を理解する	於：国立国会図書館 東京本館
4	7/2	図書館総合展 2018 フォーラムin大和	図書館総合展運営委員会	「図書館城下町 大和市」を謳う市政運営、「図鑑」編集のエピソード、デジタル化の編集者からの話	於：大和市文化創造拠点 シリウス
5	8/1・17	生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」	神奈川県教育委員会	8/1「子どもたちに楽しい読書を、子ども読書活動推進のために」 情報提供・情報交換 8/17 実践発表、地域の取り組みに学ぶ	8/1 於：かながわ県民センター 8/17 於：高相合同庁舎
6	10/19・20	全国図書館大会～東京大会	日本図書館協会	シンポジウム「市民とともに成長する図書館－図書館専門職の力」 分科会（数字は分科会番号） 1「公立図書館の使命・役割の原点を見つめ直す」 5「専門図書館と他機関、地域との連携を探る」 7「児童サービスの基本」 8「あなたの理解が誰でも利用できる図書館へとつながる」 18「地域の読書をほりおこす」	於：国立オリンピック記念 青少年センター
7	10/30～11/1	第 20 回図書館総合展	図書館総合展運営委員会	10/30 「図書館とマンガ・アニメとのコラボを考える」「ホテルに学ぶ図書館接遇」 10/31 「小さな小さな図書館に年間推定 80 万人！」「『図書館』は地域プラネットとなり得るか」 11/1 「今クラシック音楽はこれがアツい！」	於：パシフィコ横浜

8	11/5～ 11/7 12/3～ 12/5	中堅職員ステップ アップ研修 I	日本図書館協会	11 月 図書館製作の動向と図書館運営 図書館サービス計画 コレクションづくりの考え方 コレクションづくりの実際 レファレンスクエスションの処理 図書館サービスと著作権 12 月 図書館運営の評価と指標 「日本十進分類法」新訂 10 版を使いこなそう 多文化サービス・図書館の自由 レファレンスインタビューの方法 レファレンスツールの評価	
9	11/8	図書館職員専門 研修	相模原市立図書館	小さな図書館が生き残るための知 恵 ～発想の転換で味方を増やす～	於：相模原市立図書館
10	12/1	そうだったのか！ 紙芝居	大和市立図書館	紙芝居出版社編集部の方から紙 芝居の楽しさについて実演を交え ての講義	於：大和市文化創造拠点 シリウス
11	12/7	健康情報サービス	日本図書館協会 健康情報委員会	大和市文化創造拠点「シリウス」を 見学し、健康情報サービスについ て学ぶ	於：大和市文化創造拠点 シリウス
12	12/8	神奈川県子ども 読書活動推進 フォーラム	神奈川県立図書館	松居友氏講演「絵本は愛の体験で す」、事例発表・実演	於：神奈川近代文学館
13	12/13	人文分野の調べ方 ～人物調査を中心 に	NPO 法人 らいぶらいぶ	パソコンを使いながら実践的に人 物調査の方法を学ぶ	
14	3/11	ヤングアダルト世代 への図書館サービ スの在り方を考える	国立国会図書館 国際子ども図書館	講演や公共図書館・学校図書館 の実践報告から、ヤングアダルト 世代への図書館サービスの在り方 を学ぶ	
15	3/13	子どもの本 ～この1年を 振り返って 2018	出版文化産業 振興財団	2018 年はどんな子どもの本が出 版され、どのように読まれたか	於：(株)図書館流通 センター